第11回

定時総会議案書

日時:令和4年5月23日(月)16時

会場:伊万里迎賓館



公益社団法人 伊万里有田法人会

第 11 回定時総会次第

第1部 定 時 総 会 【16:00~17:00】

- 1. 開会のことば
- 2. 来賓紹介
- 3. 会長挨拶
- 4. 議長選出
- 5. 定足数の確認
- 6. 議事録署名人の選出
- 7. 議 事第 1 号 議 案 令和 3 年度決算承認の件<監査報告>第 2 号 議 案 定款の一部改定承認の件
- 8. 報告事項 〈理事会承認事項〉
 - ①令和3年度事業報告
 - ②令和4年度事業計画並びに収支予算
- 9. 令和3年度 功労者表彰
- 10. 来賓祝辞
- 11. 閉会のことば

第2部 記 意 講 演 【17:10~18:00】

◇ 演 題 「法人会及び時事問題」

◇ 講師 税理士 中江 章氏 (中江税理士事務所 所長)

第1号議案 令和3年度決算承認の件

貸借対照表

令和4年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	
I 資産の部		100 200	
1. 流動資産			
現金預金	2, 122, 489	2, 423, 002	△ 300, 513
流動資産合計	2, 122, 489	2, 423, 002	△ 300, 513
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	5, 000, 000	5, 000, 000	0
基本財産合計	5, 000, 000	5, 000, 000	0
(2) 特定資産			
退 職 給 付引 当 資 産	765, 940	735, 323	30, 617
特定資産合計	765, 940	735, 323	30, 617
(3) その他固定資産			
敷 金	140, 700	140, 700	0
その他固定資産合計	140, 700	140, 700	0
固定資産合計	5, 906, 640	5, 876, 023	30, 617
【資 産 合 計】	8, 029, 129	8, 299, 025	△ 269,896
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	90, 401	90, 057	344
流動負債合計	90, 401	90, 057	344
2. 固定負債			
退職給付引当金	765, 940	735, 323	30, 617
固定負債合計	765, 940	735, 323	30, 617
【負 債 合 計】	856, 341	825, 380	30, 961
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	7, 172, 788	7, 473, 645	△ 300, 857
(うち基本財産への充当額)	5, 000, 000	5, 000, 000	0
【正味財産合計】	7, 172, 788	7, 473, 645	△ 300,857
負債及び正味財産合計	8, 029, 129	8, 299, 025	\triangle 269, 896

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

4	火左 帝		1	(単位:円)
科 目	当年度	前年度	増減	
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益	100	- 0.0		
基本財産運用益 基本財産受取利息	100 100	500 500	$\triangle 400$	 基本財産利息収入
特定資産運用益	14	71	ightharpoonup 2 400 $ ightharpoonup 57$	
特定資産受取利息	14	71	△ 57	特定資産利息収入
受取会費	4, 290, 000	4, 338, 000	△ 48, 000	
正会員受取会費 賛助会員受取会費	4, 245, 000 45, 000	4, 290, 000 48, 000	\triangle 45,000 \triangle 3,000	正会員会費収入
事業収益	111, 000	60,000	$\frac{20,000}{51,000}$	
広報事業収益	60,000	60,000		広告料収入
会員親睦事業収益 受取補助金等	51, 000 10, 302, 500	0 11, 036, 600	$51,000$ \triangle 734, 100	会員交流事業収入
受取県連補助金	510, 000	1, 120, 000	\triangle 610, 000	
受取全法連補助金	450,000	470,000	△ 20,000	全法連より
受取全法連助成金振替額	9, 342, 500	9, 446, 600		全法連より
受取負担金 青年・女性部会受取負担金	333, 000 333, 000	249, 000 249, 000	84, 000	青年・女性部会会費収入
雑収益	226, 036	773, 932	△ 547, 896	
受取利息	36	44	△ 8	普通預金利息
雑収益 タ 費収益	226, 000	773, 888		総会・役員会会費・報奨金等
経常収益計 (2) 経常費用	15, 262, 650	16, 458, 103	△ 1, 195, 453	
事業費	11, 936, 458	12, 415, 467	△ 479,009	
役員報酬	0	0	0	専務理事<従事割合>
給料手当 退職給付費用	4, 761, 600	4, 761, 600		職員2名〈従事割合〉 退職給付引当金〈従事割合〉
	24, 491 927, 285	12, 974 965, 953		逐職紹行引当金〈促事割合〉 法定福利費他〈従事割合〉
会議費	730, 512	484, 699	245, 813	総会・研修会・委員会・講演会他
旅費交通費	941, 820	410, 824	530, 996	講師旅費・各種会議〈従事割合、直接計上〉
通信運搬費 広報誌発行費	544, 770 610, 270	676, 752 631, 878		電話代・郵送料〈従事割合、直接計上〉 会報発行年2回〈従事割合〉
消耗品費	351, 291	297, 807		事務用品他〈従事割合〉
会場費	541, 750	402,000	139, 750	講演会・研修会会場使用料
図書印刷費	456, 894	663, 178		講演会・研修会チラシ代、研修会冊子代他
記念品費 リース料	498, 709 157, 480	539, 856 157, 483	$\triangle 41, 147$	備品〈非接触型体温計〉寄贈他 電話設備・パソコン・コピー機〈従事割合〉
光熱水料費	54, 813	43, 807	11,006	事務所電気代〈従事割合〉
支払手数料	64, 694	62, 011	2, 683	口座振替手数料他〈従事割合〉
賃借料 諸謝金	553, 378 578, 200	553, 379 1, 631, 000		事務所家賃・共益費〈従事割合〉 講演会・研修会講師謝金
支払負担金	70, 000	70,000	0	税を考える協議会負担金
雑費	68, 501	50, 266	18, 235	ジャンバークリーニング代他〈従事割合、直接計上〉
管理費 役員報酬	3, 627, 049	3, 582, 690	44, 359	專務理事<従事割合>
給料手当	1, 190, 400	1, 190, 400		職員2名〈従事割合〉
退職給付費用	6, 126	3, 243	2, 883	退職給付引当金〈従事割合〉
福利厚生費	231, 824	241, 489		法定福利費他〈従事割合〉
会議費 旅費交通費	347, 879 262, 944	395, 485 151, 256		理事会(青年部会・女性部会含む)他 各種会議<従事割合、直接計上>
通信運搬費	192, 908	188, 010	4, 898	電話代・郵送料〈従事割合、直接計上〉
広報誌発行費	152, 570	157, 970	△ 5, 400	会報発行年2回〈従事割合〉
消耗品費 会場費	87, 826 104, 000	74, 451 117, 000	13, 375	事務用品他〈従事割合〉 理事会(青年部会・女性部会含む)他
保険料	91, 000	91,000		役員賠償保険料
図書印刷費	130, 423	132, 055	\triangle 1,632	総会議案書
渉外慶弔費 リース料	15, 000 39, 374	30, 000 39, 371	\triangle 15, 000	慶弔関係 電話設備・パソコン・コピー機〈従事割合〉
光熱水料費	13, 706	10, 952		事務所電気代〈従事割合〉
支払手数料	16, 175	15, 503	672	口座振替手数料他〈従事割合〉
賃借料 **執入	138, 346	138, 345		事務所家賃・共益費〈従事割合〉
諸謝金 支払負担金	240, 000 294, 100	240, 000 298, 700		顧問税理士報酬 県連会費(青年部会・女性部会含む)他
雑費	72, 448	67, 460	4, 988	事務所清掃料他〈従事割合、直接計上〉
経常費用計	15, 563, 507	15, 998, 157	\triangle 434, 650	
当期経常増減額 2.経常外増減の部	△ 300, 857	459, 946	△ 760, 803	
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用 経費外費用 針	0	0	0	
経常外費用計 当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	$\triangle 300,857$	459, 946	\triangle 760, 803	
一般正味財産期首残高	7, 473, 645	7, 013, 699	459, 946	
一般正味財産期末残高 Ⅱ 指定正味財産増減の部	7, 172, 788	7, 473, 645	△ 300, 857	
受取補助金等	9, 342, 500	9, 342, 500	0	
受取全法連助成金	9, 342, 500	9, 342, 500	0	
<u>一般正味財産への振替額</u> 一般正味財産への振替額	\triangle 9, 342, 500 \triangle 9, 342, 500	\triangle 9, 342, 500 \triangle 9, 342, 500	<u>0</u>	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高 Ⅲ 正味財産期末残高	$\frac{0}{7,172,788}$	$\frac{0}{7,473,645}$	0 \triangle 300, 857	
皿 止外州压州小汉同	1, 114, 100	1, 410, 040	△ 900, 891	

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位:円) 公益事業会計 収益事業会計 法人会計 計 科 目 合 他 1 公1 共通 公2 計 他 2 //\ I一般正味財産増減の部 1. 経常増減の部 (1) 経常収益 基本財産運用益 100 100 100 100 0 0 100 基本財産受取利息 100 0 特定資産運用益 0 14 0 0 0 14 特定資産受取利息 0 0 0 0 14 14 受取会費 1,716,000 4, 290, 000 0 429,000 429,000 1,716,000 2, 145, 000 2, 122, 500 正会員受取会費 0 0 424, 500 424, 500 0 1,698,000 1,698,000 4, 245, 000 賛助会員受取会費 0 4,500 4,500 18,000 18,000 22, 500 45,000 58, 200 事業収益 27,600 13, 200 40,8001,800 56, 400 12,000 111,000 13, 200 広報事業収益 27,60040,800 1,800 5, 400 7, 200 12,000 60,0000 会員親睦事業収益 51,000 51,000 51,000 受取補助金等 9, 342, 500 9, 342, 500 100,000 860,000 100,000 10, 302, 500 受取県連補助 510,000 510,000 受取全法連補助 100,000 100,000 350,000 450,000 受取全法連助成金振替額 9, 342, 500 9, 342, 500 9, 342, 500 受取負担金 0 333, 000 333,000 0 333,000 青年・女性部会負担金 0 333,000 333,000 333,000 36,000 雑収益 139, 036 36,000 51,000 51,000 226,036 受取利息 雑収益 36,000 36, 000 0 51,000 51,000 139, 000 226,000 経常収益計 63,600 13, 200 9, 771, 600 9, 848, 400 101,800 440, 400 1, 716, 000 2, 258, 200 3, 156, 050 15, 262, 650 (2) 経常費用 1,870,373 事業費 6,074,305 3, 991, 780 10,066,085 356, 758 1, 513, 615 11, 936, 458 0 0 役員報酬 0 0 給料手当 2, 737, 920 1, 309, 440 0 4,047,360 178, 560 535, 680 0 714, 240 4, 761, 600 24, 491 退職給付費用 14,0836,73520, 818918 2,755 3,673福利厚生費 533, 190 255, 003 788, 193 34, 773 104, 319 139, 092 927, 285 84, 281 会議費 307, 630 391, 91 338, 601 338, 601 730, 512 29,848 旅費交通費 323, 092 383, 465 706, 55 205, 415 235, 26 941, 820 通信運搬費 305, 260 170,895 476, 155 37, 491 31, 124 68,615 544,770 広報誌発行費 167, 824 350, 906 518, 730 22, 88 68,655 91,540 610, 270 消耗品費 201, 993 298, 598 13, 173 39, 520 351, 291 96,605 0 52, 693 $\overline{30,250}$ 会場費 $361, \overline{550}$ 0 149, 950 511, 500 6,050 24, 200 0 541, 750 図書印刷費 360, 271 96, 623 456, 89 456, 894 記念品費 256, 300 498, 709 178, 249 434, 549 64, 160 64, 160 リース料 90, 552 43, 307 0 133, 859 5,905 17,716 23, 621 157, 480 光熱水料費 31, 518 15,074 0 46, 592 2,05 6, 166 8, 221 54, 813 $37, \overline{199}$ 支払手数料 17,79154, 990 7,2789.70464,694 2, 426 $152, \overline{179}$ 318, 193 20, 751 62, 255 83,006 470, 37 553, 378 30,000 548, 200 578, 200 578, 200 諸謝金 支払負担金 70,000 70,000 雑費 34, 299 26, 508 60, 807 1,923 5, 771 7,694 68, 501 管理費 3,627,049 3,627,049 役員報酬 給料手当 0 1, 190, 400 1, 190, 400 退職給付費用 0 0 6, 126 6, 126 福利厚生費 0 0 231, 824 231, 824 会議費 0 347, 87 347, 879 旅費交通費 262, 944 0 0 262, 944 0 0 通信運搬費 0 0 0 0 192, 908 192, 908 広報誌発行費 0 0 0 0 0 0 152, 570 152, 570 87, 826 消耗品費 0 0 0 0 87, 826 会場費 0 104,000 104,000 0 0 0 0 0 保険料 0 0 91,00 91,000 130, 42 図書印刷費 0 130, 42 渉外慶弔費 15,000 15,000 0 リース料 0 0 0 0 39, 374 39, 374 光熱水料費 0 0 0 0 13, 706 13, 706 支払手数料 0 0 0 0 0 0 16, 175 16, 175賃借料 0 0 138, 346 138, 346 諸謝金 240,000 0 240,00 支払負担金 294, 100 294, 100 雑費 72, 448 72, 448 $3,991,\overline{780}$ $3,6\overline{27,049}$ 経常費用計 6, 074, 305 10,066,085 356, 758 1, 513, 615 1,870,373 15, 563, 507 当期経常増減額 \triangle 6, 010, 705 \triangle 3, 978, 580 9, 771, 600 \triangle 217, 685 \triangle 254, 958 \triangle 1, 073, 215 1,716,000 387, 827 \triangle 470, 999 \triangle 300, 857 経常外増減の部 (1) 経常外収益 経常外収益計 (2) 経常外費用 経常外費用計 0 0 0 当期経常外増減額 0 0 0 0 他会計振替額 \triangle 6, 010, 705 \triangle 3, 978, 580 $\triangle 470,999$ △ 300,857 当期一般正味財産増減額 9, 771, 600 △ 217, 685 \triangle 254, 958 \triangle 1, 073, 215 1,716,000 387, 827 一般正味財産期首残高 7, 473, 645 7, 172, 788 一般正味財産期末残高 Ⅱ指定正味財産増減の部 受取補助金等 9, 342, 500 9, 342, 500 9, 342, 500 9, 342, 500 9, 342, 500 受取全法連助成金 9, 342, 500 一般正味財産への振替額 △ 9, 342, 500 \triangle 9, 342, 500 △ 9, 342, 500 一般正味財産への振替額 \triangle 9, 342, 500 \triangle 9, 342, 500 \triangle 9, 342, 500 当期指定正味財産増減額 指定正味財産期首残高 指定正味財産期末残高

7, 172, 788

Ⅲ正味財産期末残高

公1: 税知識の普及を目的とする事業、納税意識の高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

公2:地域企業の健全な発展に関する事業、地域社会への貢献に関する事業

他1:会員の福利厚生に関する事業

他2:会員の交流に関する事業〈会員増強、会員親睦交流〉

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職金支給に備え、特定退職金共済制度に加入しており 特定退職金共済支給額が退職金期末要支給額に不足する金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理 消費税の会計処理は、税込方式による。

(3) 固定資産の減価償却の方法 該当なし

2. 会計方針

平成20年公益法人会計基準による。

3. 基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5, 000, 000	0	0	5, 000, 000
小 計	5, 000, 000	0	0	5, 000, 000
特定資産				
退職給付引当資産	735, 323	30, 617	0	765, 940
小 計	735, 323	30, 617	0	765, 940
合 計	5, 735, 323	30, 617	0	5, 765, 940

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科	П	当期末残高	(うち指定正味財産	(うち一般正味財産	(うち負債に
1 ¹	目	ヨ朔木/戈尚	からの充当額)	からの充当額)	対応する額)
基本財産					
定期預金		5, 000, 000		5, 000, 000	
小	計	5, 000, 000		5, 000, 000	
特定資産					
退職給付引	当資産	765, 940	_		765, 940
小	計	765, 940	_	_	765, 940
合	計	5, 765, 940		5, 000, 000	765, 940

5. 引当金の明細

引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目前期	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高	
	刊朔不沒同 日朔培加領	目的使用	その他(注)			
退職給付引当金	È	735, 323	30, 617	0	0	765, 940
小 計		735, 323	30, 617	0	0	765, 940

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高は次のとおりである。 (単位:円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上
						の記載区分
補助金						
受取県連補助金	佐賀県連	0	510,000	510,000	0	
受取全法連補助金	全法連	0	450,000	450, 000	0	一般正味財産
助成金						
受取全法連助成金	全法連	0	9, 342, 500	9, 342, 500	0	
合	計	0	10, 302, 500	10, 302, 500	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単価:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	9, 342, 500
経常外収益への振替額	
目的達成による指定解除額	0
合 計	9, 342, 500

財産目録令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照	景 表 科 目	場所•物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部				
1.流動資産	現金預金			
	現 金	手許保管	運転資金として	33,305
	預 金	普通預金	運転資金として	
		伊万里信用金庫本店		590,143
		佐賀銀行伊万里支店		1,499,041
流動資產	全合計	T	T	2, 122, 489
2.固定資産				
(1)基本財産				
	預 金	定期預金		
		伊万里信用金庫本店	公益目的保有財産であり、	2,000,000
		佐賀銀行伊万里支店	運用益を公益目的事業の	2,000,000
44 1 81 -	<u> </u>	親和銀行伊万里支店	共用財源として使用する。	1,000,000
基本財政	全合計	T	T	5, 000, 000
(2)特定資産	トロ III かん / トコ [\ // /か →	¹ → +H1 3± Λ		
	退職給付引当資産		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	505.040
	│ 녹ᄉᆗ	佐賀銀行伊万里支店	職員1名退職金の備え	765,940 765,940
(3)その他の固定資産		<u> </u>	Ι	100, 940
(3)てり他の固足資産	敷 金	 伊万里商工会議所		140,700
	放 亚	アク主向工会戦の		140,700
その他の	│ D固定資産合計			140, 700
固定資產				5, 906, 640
資				8, 029, 129
Ⅱ負債の部				, ,
1.流動負債				
	預り金	現金•普通預金	源泉所得税預り分	23,880
			社会保険料預り分	66,521
流動負債	合計			90, 401
2.固定負債				
	退職給付引当金	定期預金		
		佐賀銀行伊万里支店	職員1名退職金の備え	765,940
固定負債	青 合計			765, 940
負	債 合 計			856, 341
正味財產	全合計			7, 172, 788

監査報告書

令和4年 4月19日

公益社団法人 伊万里有田法人会

会 長 乗田 泰殿

監事 髙島 定雄



監事 溝口 貴裕



私ども監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行、計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書を監査し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び同法第124条に基づき、その方法及び結果について、下記のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私どもは、理事会並びに各理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告の内容について検討いたしました。 さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査並びに現金、預金通帳等の実地調査を行い、当該事業年度に係る計算書類について、その適正性について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ア. 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- イ. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実 は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

第2号議案 定款の一部改定承認の件

定款一部改定(案)について

公益社団法人伊万里有田沼	去人会 定款変更新旧対照表
旧(現 行)	新(改定後)
第4章 総会 (招集) 第14条 総会は、法令に別段の定め がある場合を除き、理事会の決議に 基づき会長が招集する。 2 正会員の議決権の5分の1以上 の議決権を有する正会員は、会長に 対し、総会の目的である事項及び招 集の理由を示して、総会の招集を請 求することができる。	第4章 総会 (招集) 第14条 総会は、法令に別段の定め がある場合を除き、理事会の決議に 基づき会長が招集する。 2 正会員の議決権の5分の1以上 の議決権を有する正会員は、会長に 対し、総会の目的である事項及び招 集の理由を示して、総会の招集を請 求することができる。
3 総会は、開催の日から少なくとも1週間前に、会議の目的である事項、日時及び場所を記載した文書を発して招集する。	3 総会は、開催の日から少なくとも1週間前に、会議の目的である事項、日時及び場所を記載した文書を発して招集する。なお、総会参考資料等については、電子提供措置をとることもできる。但し、会員の請求があったときは、これらの書類を当会員に交付しなければならない。
第 15 条~第 18 条 《省略》	第 15 条~第 18 条 《省略》
第 5 章 役員 第 19 条~第 25 条 《省略》	第 5 章 役員 第 19 条~第 25 条 《省略》

旧(現 行)	改定案
第6章 理事会	第6章 理事会
第 26 条~第 29 条 《省略》	第 26 条~第 29 条 《省略》
(決議) 第30条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。	(決議) 第30条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
	2 前項の規定にかかわらず、一般 社団法人及び一般財団法人に関す る法律第 96 条の要件を満たしたと きは、理事会の決議があったものと みなす。但し、監事が異議を述べた 場合は、この限りではない。

定款変更理由

第4章 総会

(招集)

第14条第3項に、総会参考資料等について、電子提供措置を取ることもできる旨を定めるもの。

理由

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律が改正され、総会開催前に 決算書等総会参考資料等をホームページに掲載(電子提供措置)する場合、 定款にその旨を定める必要があるとされたことから、定款の一部改正を行 うものである。

なお、法の施行日が令和4年9月1日であることから、付則に実行日を 同日とすることを定める。

付則

第14条第3項の改正については、実行日を法の施行日である令和4年9月1日とする。

第6章 理事会

(決議)

第30条の第2項に次の但し書きを加える。

前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。但し、監事が異議を述べた場合はこの限りではない。

参考

決

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条

理事会設置一般社団法人は、理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき理事(当該事項について議

に加わることができるものに限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき<u>(監事が当該提案について異議を述べたときを除く。)</u>は、当該提案を可決する旨の理事会決議があったものとみなす旨を定款で定めることができる。

理由

ょ

爆発的感染拡大や大規模自然災害等により、期限内に理事会の開催ができない、又は理事会が不成立となる可能性がある場合に備えて、書面等に

り意思表示を求め、理事会決議とすることができる手段を確保しておく必要があるためであるが、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96

報告事項 ①令和3年度事業報告

令和3年度 事業報告

◇総括的概要

公益法人制度改革に伴い、平成24年4月に「公益社団法人」としての認定を 受け、これまで公益目的事業として認められた諸事業を中心に活動してまいりま した。

令和3年度も、「税知識の普及」及び「納税意識の高揚」並びに「地域企業の 健全な発展」・「地域社会への貢献」に関する事業を中心に実施してまいりました。 特に青年部会では租税教育活動に力を入れ、伊万里税務署管内においては、 伊万里有田法人会が開催する「租税教室」が浸透しつつありかつ好評を博し、 「租税教室開催」を管内の小学校の方から希望されるに及んでおります。 このことは、青年部会及び女性部会にとって一層の励みとなっている次第です。 また、公開講演会やセミナー等は、非会員や一般市民にも広く呼び掛けて開催

令和3年度の主な事業内容は次のとおりです。

1. 公益事業関係

(1) 税知識の普及を目的とする事業

①「租税教室」の開催

してまいりました。

青年部会が中心となって、部会役員が講師を務め、将来を担う子供達に対し、 税金の大切さや使い道を正しく理解してもらうため、伊万里税務署管内の小学生 高学年の児童を対象に実施いたしました。

<和税教室開催校>

◇有田町立大山小学校
 ⑥年生児童 44名
 ◇伊万里市立大川内小学校
 ⑥年生児童 12名
 ◇伊万里市立東山代小学校
 ⑥年生児童 75名
 ◇伊万里市立滝野小学校
 ⑥年生児童 1名
 計132名

②税に関する「絵はがきコンクール」の実施

女性部会が中心となって、本年度は伊万里地区で租税教室を開催した小学校の6年生の児童を対象に、租税教室で学んだ税金の使われ方や役割などを絵はがきに描いてもらい、税に関する「絵はがきコンクール」を実施いたしました。

(応募作品、伊万里地区租税教室開催校3校、計127点)

絵はがきコンクールの優秀作品は表彰を行うと共に、応募の全作品を伊万里市 役所1階ロビーに確定申告期間中展示いたしました。

また、租税教室開催校へ記念品として、各校にそれぞれ2万円相当の備品を 寄贈いたしました。

③「税金クイズ」の実施

税知識の普及を図るため、大川内山での「鍋島藩窯秋まつり」(伊万里市)と「秋の有田陶磁器祭り」(有田町)で税金クイズを実施し、税についての知識を深めてもらいました。

④税の啓発用小冊子の配布

全法連作成の税の啓発用小冊子「タックスフントとけんたくん」を租税教室受講の全児童に配布いたしました。(132冊)

⑤税に関するDVD及び図書の貸出し

租税教室開催のため、講師を担当する青年部役員に租税教室講義内容を納めた DVDを貸し出しました。

また、税に関する参考図書の貸し出しについて、ホームページ上に掲載し周知 に努めました。

(2) 納税意識の高揚を目的とする事業

①税務に関する研修会等

種別	開催日	内容・講師等	参加	者
決 算 説 明 会	3. 5.19	・会社の決算と申告の実務について ・講師:伊万里税務署 法人税担当官	会員 非会員	17名 2名
税務研究会	8. 24	・消費税 インボイス制度Q&A ・講師:税理士法人いまり会計事務所 黒川浩司氏	会員 非会員	48 名 一名
決 算 説 明 会	9. 14	・会社の決算と申告の実務について ・インボイス制度について ・講師:伊万里税務署 法人税担当官	会員 非会員	16名 1名
税務研修会(商工会議所共催)	9. 16	・インボイス制度の概要と実務上対応のポイント・講師:中央税務会計事務所 所長 中島由雅氏	会員 非会員	14名 6名
税務研修会 (青年・女性部会)	11. 11	・「税について考えてみよう」〜税のよもやま話〜・講師:伊万里税務署長 阿川 恵子氏	会員 非会員	22名 一名
新設法人説明会	12. 8	・新設法人のための会社の税金について ・インボイス制度について ・講師:伊万里税務署 法人税担当官	会員 非会員	一名 7名
決 算 説 明 会	12. 8	・会社の決算と申告の実務について ・インボイス制度について ・講師:伊万里税務署 法人税担当官	会員 非会員	15名 10名
決 算 説 明 会	4. 2. 8	・会社の決算と申告の実務について ・インボイス制度について ・講師:伊万里税務署 法人税担当官	会員 非会員	18名 7名

②広報紙等での税情報の発信

法人会会報「いまり・ありた」を年2回発行し、会員を始め、関連団体に送付するとともに管内の公共施設等(市・町の出先機関)の窓口に配布いたしました。

- ·第89号 令和3年8月1日発行 1,200部(A4版16頁)
- ・第90号 令和4年2月1日発行 1,200部(A4版16頁)

- ・全法連発行の「ほうじん」(年4回発行)の配布をいたしました。
- ・当法人会ホームページに、随時事業活動内容等を掲載しました。
- ③e-Tax (国税電子申告・納税システム)の普及・利用拡大の推進 決算事務説明会を始め、各種研修会や会議の席上において利用拡大をお願いすると共に、広報紙等でPRに努めました。

④伊万里・有田「税を考える」協議会への協力

税の正しい知識の普及と申告納税制度の健全な発展に寄与することを目的と して活動している協議会に対し、税に関する作文、ポスター等の表彰に関する 賞品代として7万円を負担いたしました。

(3) 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

令和4年度の税制改正要望事項について、全法連が作成した「アンケート調査用紙」を役員、税制委員に配付し、解答いただいた調査用紙を全法連へ送付しました。

当法人会税制委員会でも要望事項を取りまとめ、県連の税制委員会に提出し、 県連の税制委員会では県内各法人会の要望事項を取りまとめ全法連へ提出、これ を基に全法連では、令和3年9月21日開催の全法連理事会において「令和4年 度税制改正に関する提言」を決議し、その後、関係省庁に要望されました。

当法人会としても「令和4年度税制改正に関する提言書」を伊万里市長、伊万 里市議会議長に直接手渡し、格別な配慮をしていただくよう要請いたしました。

(4) 地域企業の健全な発展に関する事業

◇経営に関する研修会等

種 別	実施日	演題・講師等	参加	者
法人会セミナー	3. 10. 13	・「利益計算に影響を及ぼす資産評価について」 講師:三井税理士事務所 三井 鐘憲氏	会員 非会員	23名 一名
I Tセミナー (パソコン教室)	3. 12. 1~3	・「日常よく使うジャンル」・「応用編や使いこなすレベル」の習得 3日間・講師:伊万里情報センター 川元 美春氏	会員 非会員	17名 一名
経営者セミナー (商工会議所共催)	4. 2. 9	・企業競争力アップにつながる「SDG s の始め方」 〜持続的な企業価値の向上を目指して!〜 ・講師:ナレッジフォース・パートナーズ合同会社 代表 藤原 敬行氏	会員 非会員	6名 3名

(5) 地域社会への貢献に関する事業

①カブトガニ産卵地の清掃奉仕作業

伊万里市カブトガニを守る会(ライオンズクラブ、ロータリークラブ、青年会議所など5団体で組織されている)に協力し、カブトガニの産卵地として知られる、木須町の多々良海岸の清掃奉仕作業に参加協力いたしました。

当日は、全体で約60名の参加があり、当法人会からも青年部会、女性部会、 公益委員会の委員や部会員が参加して、ボランティア活動を行い、海岸に漂着し た木屑やペットボトルなどを手作業で集め、2tトラック2台分を回収しました。 また、当法人会よりガレキ運搬のトラック借上料を負担いたしました。

②「本の除菌BOX」を贈呈

社会貢献活動事業の一環として、今年度は、伊万里市民図書館へ、コロナ禍における利用者の衛生対策の一環として「本の除菌BOX」を贈呈しました。

③講演会等の開催

著名な講師による講演会等は、市民センターや各町公民館等にチラシを掲示すると共に、ホームページでも周知し、非会員、一般市民にも広く呼びかけて開催しました。

◇公開講演会等

種別	実施日	演題・講師等	参加者	
講演会	3. 5.28	・演題:「いのちを活かす」 ・浄土真宗本願寺派 浄誓寺住職 古川文雄氏	会員 24 名 非会員 - 2	
公開講演会	4. 2. 4	・「岐路に立つ日本」~日本に突き付けられる世界標準とは~ 講師:山口真由氏 (NY 州弁護士)	会員 46 ź 非会員 32 ź	

④新作カレンダーバザー展に協力

佐賀県共同募金会主催による「歳末たすけあい2022年版新作カレンダーバザー展」は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

2. 収益事業等関係

(1) 会員の福利厚生に関する事業

法人会の福利厚生制度は、会員事業所の福利厚生と企業防衛に大きな役割を果たすと同時に、法人会活動を支える貴重な財源になっていることから、重点3制度である「経営者大型総合保障制度」・「ビジネスガード」・「がん保険制度」について、厚生委員を中心に役員・関係者の協力を得ながらその推進を図ってまいりました。

特に、経営者大型総合保障制度については全国440法人会の中なかで、加入率46.0%と高い水準を維持しております。

重点3制度の加入状況は次の通りです。

◇重点3制度の加入状況 (会員数は令和4年3月末 805社)

制度名	加入企業数	加入率	前年加入率	備考
経営者大型保障制度	371 (△17)	46. 0	48.9	△2. 9
ビジネスガード	134 (7)	16. 6	16. 0	0.6
がん保険制度	169 (1)	20. 9	21. 2	△0.3

注:加入企業数の()は、対前年同月比増減数

(2) 会員の交流に関する事業

種 別	開催日	内 容 等	参加者
視察研修会 (女性部会)	3. 12. 7	視察先: 唐津市、(株) 唐津プレシジョン、他 5 S 運動推進の工場見学等	18名
県連青年部会 連絡協議会 (講演会)	4. 3.18	演 題:「家族で楽しく、健康に暮らすコツ」 講 師:タレント 中澤裕子氏	1名
県連講演会	3. 25	演題:「国際社会と日本」~厳しさを増す米中関係と日本の針路~講師:藪中三十二氏(立命館大学客員教授)	9名

(3)組織並びに財政基盤強化関係

組織基盤等の強化・充実を図るため、厳しい経済情勢のなか年間を通じて会員増強を実施いたしました。組織委員会や厚生委員会で会員の増強に努めた結果、期中入会社26社、退会社14社で、前年度末より12社増加いたしました。 ◇地区別会員数の状況(令和4年3月末()数字は賛助会員)

項目地区	期首	入 会	退会	期末	所管法人数	加入率
伊万里	511 (10)	18(1)	8(0)	521 (11)	_	
有 田	282 (4)	8(0)	6(0)	284(4)	_	
計	793 (14)	26(1)	14(0)	805 (15)	1, 485	54. 2%

3. その他会議関係

(1)総 会

会議名	開催日	議題等
定 時 総 会	3. 5. 28	【審議事項】 ・会費規程の改定案承認の件 ・令和2年度収支決算承認の件 ・任期満了に伴う役員改選案承認の件 【報告事項】 ・令和2年度事業報告 ・令和3年度事業計画並びに収支予算

(2) 役員会等

会議名	<u></u>	開催日	議題等
監 査	会	3. 4.20	・令和2年度事業及び会計監査
正副会長	長会	4. 21	・理事会提出議案の審議
理事	会	4. 21	【審議事項】 ・令和2年度事業報告の件 ・令和2年度収支決算承認の件 ・任期満了に伴う理事・監事候補者(案)の件 ・任期満了に伴う会長・副会長選定(案)の件 ・令和2年度功労者表彰の件 ・第10回定時総会開催の件
理事	会	9. 2	・会長・副会長・理事の職務執行状況報告
正副会長	会	4. 1. 6	・今後の会議、総会等の予定について ・その他(今後の講演会等の予定)

会議名	開催日	議題等
正副会長会		・令和4年度事業計画について ・法人会理事会改選及び委員会委員改選に向けて
正副会長会	3. 18	・令和4年度事業計画・収支予算の件 ・「慶弔規程」及び「委員会規程」の改定(案)の件 ・定時総会功労者表彰の候補者の人選の件 ・定時総会開催に関わる日時・場所等の件
理事会	3. 18	【審議事項】 ・令和4年度事業計画・収支予算の件 ・「慶弔規程」及び「委員会規程」の改定(案)の件 ・定時総会開催の関わる日時・場所等の件 【報告事項】 ・会長・副会長・理事の職務執行状況報告 ・事務局長の定年(満65歳)をむかえての対応について ・広報委員会と公益委員会の構成委員の変更について

(3) 委員会

(0) 女只五		
委員会名	開催日	議 題 等
広報委員会 (正副委員長会)	6. 4	・法人会だより第 89 号発刊の件
広報委員会	6. 9	・法人会だより第89号発刊の件
公益委員会	6. 17	・委員長交代に伴う委員会の委員構成について ・令和3年度公益事業実施の件
広報委員会 (正副委員長会)	7. 26	・法人会だより第89号発刊の件
委員会編成会議	8. 4	・令和3年度各委員会委員編成について
厚生委員会	10. 4	・令和3年度厚生委員会組織体制について ・県連厚生委員会(7/28 開催)の報告 ・令和2年度「福利厚生制度」の実績及び令和3年 度の取り組みについて
組織委員会	10. 15	・令和3年度の組織委員会の組織体制について ・県連組織委員会(8/24 開催)の報告 ・副委員長の増員について ・令和3年度「会員増強運動」の取り組みについて
広報委員会 (正副委員長会)	11. 17	・法人会だより第 90 号発刊の件

委員会名	開催日	議題等
広報委員会	12. 16	・法人会だより第90号発刊の件
組織委員会	3. 12. 22	・令和3年度「会員増強運動」の進捗状況について
公益委員会	12. 27	・県連研修員会(12/14 開催)の報告 ・令和3年度公益事業計画実施について
広報委員会 (正副委員長会)	4. 1.26	・法人会だより第 90 号発刊の件
各委員会	2. 2	・令和4年度事業計画について ・法人会理事会改選及び委員会委員改選に向けて
公益委員会 (正副委員長会)	2. 14	・法人会正副会長及び各委員会正副委員長会議(2/2 開催)の報告・公開講演会を終えて・定時総会時の記念講演講師の選定の件
総務委員会	3. 1	・法人会正副会長及び各委員会正副委員長会議(2/2 開催)の報告 ・事務局長の定年(満65歳)をむかえての対応 ・「慶弔規程」及び「委員会規程」の改定(案)について ・定時総会功労者表彰の候補者の人選について

(4) 諸会議・関連行事

会 議 ・ 行 事 等	開催日	出席者等
伊万里・有田「税を考える」協議会	3. 5. 20	山口会長
県連・総務委員会	5. 26	今泉総務委員長、事務局
県連・理事会	6. 7	山口会長他3名、事務局
カブトガニ産卵地清掃奉仕作業	6. 22	公益委員、青年・女性部 会員
県連・第9回定時総会	6. 21	山口会長他3名、事務局
県連・厚生委員会	7. 28	黒木厚生委員長、事務局
伊万里図書館へ「本の除菌 BOX」の贈呈	8. 11	白川副会長、黒川公益委 員長、事務局
県連・組織委員会	8. 24	西山組織委員
伊万里・有田「税を考える」協議会	10. 21	乗田会長
鍋島藩窯秋まつり(税金クイズ実施)	11. 6	公益委員、青年・女性部 会員

会 議 ・ 行 事 等	開催日	出席者等
令和4年度税制改正に関する提言活動 (伊万里市長・伊万里市議会議長)	11. 8	吉原副会長 黒川税制委員長
秋の有田陶磁器祭り (税金クイズ実施)	11. 21	公益委員、女性部会員
県連・研修委員会	12. 14	黒川公益委員長、事務局
歳末助け合い「2022新作カレンダー」 バザー展	中止	
有田商工会議所主催 新年賀詞交換会	4. 1. 5	乗田会長
伊万里商工会議所主催 新年賀詞交歓会	1. 6	乗田会長
伊万里・有田「税を考える」協議会	1. 25	事務局
県連・厚生委員会	3. 2	廣厚生委員会副委員長、 事務局
全法連事務局セミナー (東京)	3. 4	事務局より1名
県連・組織委員会	3. 8	宮本組織委員長、山口組 織副委員長。事務局
県連・総務委員会	3. 17	今泉総務委員長、川井総 務副委員長、事務局
全国厚生委員長会議(東京)	3. 23	廣厚生委員会副委員長
県連・講演会(講師: 藪中三十二氏)	3. 25	参加者 9 名
県連・理事会	3. 29	乗田会長他3名、事務局

<青年部会活動>

① 会員数

R 3年4月1日	期中増減		D 4年9日91日	
R 3年4月1日	入 会	退会(卒業)	R 4 年 3 月 3 1 日	
5 2	2 0	0 (-)	7 2	

②会議·行事等

行 事 名	開催日	内 容 等
現地視察会	3. 4.12	・青年の集い佐賀大会「現地視察会」 ガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピア、佐賀市文化 会館、SAGA サンライズパーク総合体育館
第1回租税教育プレゼン・健康経営 大賞担当委員会	3. 4. 19	・全法連役員による現地調査報告 ・租税教育プレゼン&健康経営大賞のタイムスケジュール ・「健康経営宣言書」の提出とエントリー企業の選定 伊万里有田法人会:伊万里商工会館 4F

行 事 名	開催日	内 容 等
青連協役員会	4. 20	・全国青年の集い「佐賀県大会」について ・その他 鳥栖法人会:ホテルビアントス
九北連·青連協 租税教育研修会	4. 23	・研修会 ・第35回法人会全国青年の集い「佐賀大会」について ・第36回法人会全国青年の集い「沖縄大会」について 九北連青連協:ホテルニュー長崎
租税教室講師 養成研修会	5. 10	・「租税教室講師養成研修会」の開催 ・伊万里税務署1階大会議室 3名参加
青連協役員会	5. 13	・全国青年の集い「佐賀大会」について 各実行員委員会活動状況報告 ・健康経営宣言書、法人会アンケート調査システ ムについて 伊万里有田法人会:ロイヤルチェスター伊万里
第2回租税教育プレゼン・健康経営 大賞担当委員会	5. 24	・佐賀県青連協役員会(5/13 開催)の報告 伊万里商工会館 4F 大ホール
定時報告会	6. 11	・令和2年度事業報告・決算報告の件 ・令和3年事業計画・収支予算(案)の件 ・任期満了に伴う役員改選について ・青年部会会則の一部改定について 伊万里商工会館 4F 大ホール
青連協役員会 県青連協定時大会	6. 17	【青連協役員会】 ・全法連青連協定時連絡協議会(6/2 開催)の報告 ・各実行員委員会活動状況報告 【県青連協定時大会】 ・令和2年度事業報告承認の件 ・令和3年度事業計画(案)承認の件 ガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピア
第3回租税教育プレゼン・健康経営 大賞担当委員会	6. 21	 ・佐賀県青連協「臨時」役員会(6/12 開催)の報告 ・佐賀県青連協役員会(6/17 開催)の報告 ・県青連協定時大会(6/17 開催)の報告 ・その他の項目 伊万里商工会館 4F 大ホール
租税教室開校	6. 28	・大山小学校 6年生児童44名
青連協役員会	7. 12	・全国青年の集い「佐賀大会」事業計画書(案)について ・各実行委員会活動状況報告 ・青年部会会員数の推移、健康経営宣言書提出状況及びJタイプ実績報告 ホテルマリターレ創世
第4回租税教育プレゼン・健康経営 大賞担当委員会	7. 19	・佐賀県青連協役員会(7/12 開催)の報告 伊万里商工会館 4F 大ホール

行 事 名	開催日	内 容 等
青連協役員会	8. 16	・全法連青年部会連絡協議会第3回役員会(7/19) 開催帆報告 ・全国青年の集い「佐賀大会」スケジュール等について ・各実行委員会活動状況報告 ・租税教育活動プレゼンテーション Web 投票システム、宿泊プラン/エクスカーション申込サイトについて ホテルマリターレ創世
青連協役員会	9. 16	・全国青年の集い「佐賀大会」について ・各実行委員会活動状況報告 ホテルマリターレ創世
第 5 回租税教育プレゼン・健康経営 大賞担当委員会	9. 21	・佐賀県青連協役員会(8/16, 9/16 開催)の報告 伊万里商工会館 4F 大ホール
決起集会	10. 12	・「第35回法人会全国青年の集い佐賀大会」決起 集会 ホテルマリターレ創世
第6回租税教育プレゼン・健康経営 大賞担当委員会	10. 18	・第35回法人会全国青年の集い佐賀大会]決起集 会(10/12 開催)の報告 伊万里商工会館 4F 大ホール
社会貢献活動	11. 6	・鍋島藩窯秋まつり(税金クイズ実施)
税務研修会(女性部会合同)	11. 11	題目:「税について考えてみよう」〜税のよもやま話〜 講師:伊万里税務署長 阿川 恵子氏
青連協役員会	11. 11	・全国青年の集い「佐賀大会」当日パンフレット について ・各実行委員会活動状況報告 ホテルマリターレ創世
第7回租税教育プレゼン・健康経営 大賞担当委員会	11. 15	・佐賀県青連協役員会(11/11 開催)の報告・「第35回全国青年の集い 佐賀大会」当日の確認事項伊万里商工会館 4F 大ホール
青年の集い (佐賀大会)	11. 25-26	・第35回法人会全国青年の集い 佐賀大会 佐賀市文化会館
租税教室開校	3. 12. 15 4. 1. 14	・大川内小学校 6年生児童12名・東山代小学校 6年生児童75名・滝野小学校 6年生児童 1名
青連協役員会	4. 1.18	・全国青年の集い「佐賀大会」大会報告・各実行委員会大会報告・収支決算報告ホテルマリターレ創世
青連協役員会 (講演会)	3. 18	・演題「家族で楽しく、健康に暮らすコツ」 講師:中澤裕子氏(タレント) ガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピア

<女性部会活動>

① 会員数

R 3年4月1日	期中増	減	R 4年3月31日
	入 会	退会	
4 1	4	2	4 3

②会議・行事等

行事名	開催日	内 容 等			
正副部長会議	3. 5.24	・任期満了に伴う役員改選(案)について ・「女性部会会則」の改定(案)について ・今後の活動について 伊万里商工会館 3F 小会議室			
役 員 会	6. 8	・任期満了に伴う役員改選(案)について ・「女性部会会則」の改定(案)について ・今後の活動について 伊万里商工会館 2F 中会議室			
社会貢献活動	6. 22	・カブトガニ産卵地清掃ボランティア活動			
定時報告会	7. 6	【報告事項】 ・令和2年度事業報告並びに決算報告の件 ・令和3年事業計画並びに収支予算の件 【審議事項】 ・任期満了に伴う役員改選の件 ・女性部会会則の一部改定の件			
県連定時総会	7. 27	・令和2年度事業報告及び収支会計報告 ・令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認について ・役員改選(案)承認の件 ホテルマリターレ創世			
役 員 会	10. 8	・会員親睦事業(研修旅行)について ・税金クイズについて ・税務研修会(青年部合同)について ・税に関する「絵はがきコンクール」実施について ・会員増強について			
社会貢献活動	11. 6	・鍋島藩窯秋まつり(税金クイズ実施)			
税務研修会(青年部会合同)	11. 11	題目:「税について考えてみよう」〜税のよもやま話〜 講師:伊万里税務署長 阿川 恵子氏			
全国大会	11. 16	・第15回法人会全国女性フォーラム「新潟大会」			
社会貢献活動	11. 21	・秋の有田陶磁器まつり会場にて「税金クイズ」実施			
女連協役員会	11. 27	・今年度の事業活動について			
視察研修会	12. 7	・株式会社唐津プレシジョン(唐津の工作機械・精密加工機 械の製作所)の工場を見学。 参加者 18 名			
絵 は が き コ ン ク ー ル 作品募集活動	3. 6.28 12.15 4. 1.14	・大山小学校 6年生児童44名・大川内小学校 6年生児童12名・東山代学校 6年生児童71名			

行事名	開催日	内 容 等
女連協役員会	1. 26	【報告事項】 ・令和3年度事業報告 【協議事項】 ・令和3年度未実施事業について ・第16回法人会女性フォーラム(静岡大会)における情報交換会への参加者について
絵 は が き 審 査 会	4. 1.27	・租税教室開催校3校より127点の応募 ・法人会長、税務署長賞の外、入賞20点を選出

報告事項 ②令和4年度事業計画並びに収支予算

令和4年度 事業計画

(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

◇基本方針

法人会の基本理念の下、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体として、社会全体への貢献をめざし、税を中心とした事業の一層の充実を図り、法人会活動の更なる活性化に努める。

特に、原点である「税」に関する活動においては、青年・女性部会が中心となって、小学6年 児童を対象とした租税教育活動を積極的に実施する。

また、組織・財政基盤の強化に取り組み、なお一層の地域社会の発展に寄与するため、以下の諸事業を実施する。

◇主な事業計画

1. 公益事業関係

(1) 税知識の普及を目的とする事業

①租税教室の実施

主として小学6年児童を対象に、青年部会役員が講師を務め、租税教室を開催する。 (伊万里税務署管内の3校を予定)

- ②税に関する「絵はがきコンクール」の実施 租税教室実施校の児童を対象に、女性部会が中心となり、「税に関する絵はがき コンクール」を実施する。
- ③管内イベント会場で税に関する啓発事業の実施 有田夏祭り、いまり秋祭り会場等で、来場者に対し「税金クイズ」等を行い、 税知識の普及に努める。
- ④全法連作成の冊子「タックスフントとけんたくん」等の配布 租税教育の参考資料として、租税教室受講の全児童に配布する。
- ⑤税に関するDVD及び図書の貸出し。

(2) 納税意識の高揚を目的とする事業

- ①税に関する説明会、研修会等の開催 新設法人説明会、決算事務説明会、改正税法説明会等
- ②伊万里・有田「税を考える協議会」への協力 中・高生対象の「税に関する作文・ポスター」に対する賞品提供
- ③税に関する広報事業
 - ・納税意識の向上を図るため税務当局と連携し、身近な税情報を広報紙等で会員、 非会員に提供する。
 - ・e-Tax の普及推進及び消費税完納運動の推進
 - ・企業の税務コンプライアンス向上施策の推進

(3) 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

- ①税制改正に関するアンケート調査の実施 令和5年度税制改正提言事項取りまとめのため、全法連が実施するアンケート 調査を実施する。
- ②税制改正要望事項の検討・作成 税制委員会を開催し、県連税制委員会に提案するため、令和5年度税制改正要望 事項を取りまとめる。

- ③税制改正要望全国大会への参加 第38回全国大会(千葉大会)への参加
- ④税制改正提言活動の実施 全法連全国大会で採択された税制改正に関する提言書を、地元の市長、市議会 議長に手渡し、要望活動を行う。
- ⑤第36回全国「青年の集い・沖縄大会」への参加
- ⑥第16回全国「女性フォーラム・静岡大会」への参加

(4) 地域企業の健全な発展を目的とする事業

- ①経営に関する実務研修会等の開催 中小企業の健全な発展を目的として、経営、労務、IT等に関するセミナーを開催 する。
- ②中小企業会計啓発・普及セミナーの開催 「中小企業の会計」について、その意義、導入上の留意点を広く啓発、普及することにより、中小企業の経営管理基盤の整備促進に資することを目的として開催する。

(5) 地域社会への貢献を目的とする事業

①カブトガニ産卵地の清掃奉仕活動 「伊万里市カブトガニを守る会」に協力し、海岸に漂着したガレキ等の撤去作業を 行う。併せて、ガレキ運搬のためのトラック借上料を負担する。

- ②管内公共施設等に備品の寄贈 管内の公共施設等に備品(車いす等)を寄贈し、一般市民の利便性に役立てる。
- ③公開講演会等の開催 管内商工会議所等と共催し、著名人による政治・経済問題等の講演会を開催する。
- ④歳末たすけあい「新作カレンダーバザー展」に対する協力 佐賀県共同募金会主催によるカレンダーバザー展に対し、会員企業からカレンダー、 手帳等を提供していただき、歳末たすけあい運動の一環として役立てる。

2. 収益事業等関係

(1) 会員の福利厚生に関する事業

- ①「経営者大型総合保障制度」・「ビジネスガード」・「がん保険」の普及推進
- ②貸倒保証制度(取引信用保険)の普及推進

(2) 会員の交流に関する事業

- ①管外視察研修会の実施
- ②青年部会親睦ボウリング大会等の実施
- ③女性部会親睦研修旅行の実施
- ④関連団体との親睦事業の実施

(3) 会員増強に関する事業

- ①組織委員会を開催し、会員増強キャンペーン期間(9月~12月)を設け、12月 末の会員数を対前年同月比プラス1の目標に取り組む。
- ②会員増強功労者に対し表彰を行う。

令和4年度収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

N D	火左车	公 左 在	4.6 A.1	(単位:円)
科 目 I 一般正味財産増減の部	当年度	前年度	増減	備考
1.経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	100	100	0	
基本財産受取利息 特定資産運用益	100 100	100 100	0	基本財産利息収入
特定資産受取利息	100	100	0	特定資産利息収入
受取会費	4, 373, 000	4, 370, 000	3,000	
正会員受取会費	4, 325, 000	4, 319, 000		正会員会費収入
費助会員受取会費 事業収益	48, 000 194, 000	51, 000 204, 000	\triangle 3,000 \triangle 10,000	<u> </u>
広報事業収益	60, 000	60, 000		広告料収入
会員親睦事業収益	134, 000	144, 000	△ 10,000	会員交流事業収入
受取補助金等	10, 286, 200	10, 302, 500	△ 16,300	
受取県連補助金 受取全法連助成金振替額	940, 000 9, 346, 200	960, 000 9, 342, 500	$\triangle 20,000$	県連より 全法連より
受取 負担金	345, 000	375, 000	\triangle 30,000	
青年・女性部会受取負担金	345, 000	375, 000	△ 30,000	青年・女性部会会費収入
雑収益	840, 100	781, 300	58, 800	
受取利息 雑収益	100 840, 000	100 781, 200		普通預金利息 総会・理事会会費等
経常収益計	16, 038, 500	16, 033, 000	5, 500 5, 500	
(2) 経常費用	10, 000, 000	10, 000, 000	3, 000	
事業費	12, 384, 000	12, 531, 000	△ 147,000	
役員報酬	4 701 000	4 701 000	0	
給料手当 退職給付費用	4, 761, 600 331, 200	4, 761, 600 25, 600		職員2名〈従事割合〉 退職給付引当金〈従事割合〉
福利厚生費	1, 040, 000	960, 000		法定福利費他〈従事割合〉
会議費	1, 086, 400	1, 142, 400	\triangle 56,000	総会・研修会・委員会・講演会他
旅費交通費	1, 234, 600	1, 230, 600		講師旅費・全国大会・各種会議〈従事割合、直接計上〉
通信運搬費 広報誌発行費	452, 700 576, 000	513, 900 560, 000	△ 61, 200	電話代・郵送料〈従事割合、直接計上〉 会報発行年2回〈従事割合〉
上	296, 000	240, 000	56, 000	芸報発行年2回(促事制合) 封筒、事務用品他(従事割合)
会場費	409, 100	586, 300		講演会・研修会他
図書印刷費	147, 000	160, 200		講演会・研修会チラシ代
記念品費 リース料	383, 000	446, 000		備品寄贈、各種事業に関する記念品
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	160, 000 57, 600	160, 000 48, 000		コピー機・パソコン〈従事割合〉 事務所電気代〈従事割合〉
支払手数料	61, 600	61, 600		口座振替手数料他〈従事割合〉
賃借料	560, 000	560, 000	0	事務所家賃・共益費〈従事割合〉
諸謝金	674, 000	930, 000		講演会研修会講師謝金
支払負担金 雑費	70, 000 83, 200	70, 000 74, 800	8 400	税を考える協議会負担金 ジャンバークリーニング代他〈従事割合、直接計上〉
*************************************	3, 654, 500	3, 502, 000	152, 500	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	1, 190, 400	1, 190, 400		職員2名〈従事割合〉
退職給付費用 福利厚生費	82, 800 260, 000	6, 400 240, 000		退職給付引当金〈従事割合〉 法定福利費他〈従事割合〉
会議費	289, 500	286, 000		理事会他
旅費交通費	313, 000	267, 400	45, 600	全国大会・各種会議〈従事割合、直接計上〉
通信運搬費	202, 600	200, 400	2, 200	電話代・郵送料〈従事割合、直接計上〉
広報誌発行費 消耗品費	144, 000 74, 000	140, 000 60, 000		会報発行年2回〈従事割合〉 封筒、事務用品他〈従事割合〉
会場費	46, 000	46, 000		理事会他
図書印刷費	114, 000	135, 000	△ 21,000	総会議案書
渉外慶弔費	10,000	10,000		慶弔関係
リース料 光熱水料費	40, 000 14, 400	40, 000 12, 000		コピー機・パソコン〈従事割合〉 事務所電気代〈従事割合〉
支払手数料	15, 400	15, 400		口座振替手数料他〈従事割合〉
賃借料	140, 000	140, 000	0	事務所家賃・共益費〈従事割合〉
諸謝金	240, 000	240, 000		顧問税理士報酬
(A) (保険料 (表)	100, 000 300, 000	100, 000 297, 000		役員賠償保険料 県連会費他
工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	78, 400	76, 000		事務所清掃料他〈従事割合、直接計上〉
経常費用計	16, 038, 500	16, 033, 000	5, 500	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益 経営外収 経営外収 経営外収 経営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0	0	^	
経常外収益計 (2)経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	7, 473, 645	7, 013, 699	459, 946	
一般正味財産期末残高 Ⅱ 指定正味財産増減の部	7, 473, 645	7, 013, 699	459, 946	
受取補助金等	9, 346, 200	9, 342, 500	3, 700	
受取全法連助成金	9, 346, 200	9, 342, 500	3, 700	
一般正味財産への振替額	\triangle 9, 346, 200	△ 9, 342, 500	\triangle 3, 700	
一般正味財産への振替額	\triangle 9, 346, 200	\triangle 9, 342, 500	\triangle 3, 700	
当期指定正味財産増減額 指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	7, 473, 645	7, 013, 699	459, 946	
	, , = ==	, , , = = 0	,	

令和 4 年度収支予算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円) 公益事業会計 収益事業会計 科 目 法人会計 合 計 一般正味財産増減の部 経常増減の部 (1) 経常収益 基本財産運用益 100 100 100 基本財産受取利息 100 100 100 特定資産運用益 0 0 0 100 100 特定資産受取利息 0 0 100 100 $4, 3\overline{73}, \overline{000}$ 受取会費 0 1,749,200 1,749,200 2, 186, 500 0 437, 300 437, 300 0 1, 730, 000 正会員受取会費 $432, \overline{500}$ 432, 500 1, 730, 000 2, 162, 500 4, 325, 000 0 19, 200 19, 200 賛助会員受取会費 4, 800 $24, \overline{000}$ 4,800 48,000 27,600 13, 200 139, 400 事業収益 40,800 1,800 141, 200 12,000 194,000 13, 200 広報事業収益 27,600 40,800 1,800 5, 400 7, 20 12,000 60,000 会員親睦事業収益 134,000 134,000 134,000 受取補助金等 9, 346, 200 940,000 10, 286, 200 0 0 9, 346, 200 受取県連補助金 940,000 940,000 受取全法連助成金振替額 0 9, 346, 200 0 9, 346, 200 9, 346, 200 345,000 受取負担金 345,000 345,000 青年・女性部会負担金 345,000 345,000 345,000 雑収益 0 0 602,000 602,000 238, 100 840, 100 0 受取利息 0 100 100 雑収益 238.000840,000602,000 602.000 1,086,4001, 749, 200 $2, 8\overline{37, 400}$ $3, \overline{376, 700}$ 13, 200 9, 783, 600 1,800 16, 038, 500 経常収益計 27,600 9, 824, 400 (2) 経常費用 事業費 6,026,300 3, 901, 300 9, 927, 600 352,600 2, 103, 800 2, 456, 400 12, 384, 000 0 役員報酬 2, 737, 920 4, 047, 360 給料手当 1, 309, 440 4, 761, 600 178, 560 535,680 714, 240 退職給付費用 190, 440 91,080 281, 520 12, 420 37, 260 49,680 331, 200 福利厚生費 598,000 286,000 0 884,000 39,000 117,000 156,000 1,040,000 会議費 185,700 79,700 0 265, 400 6,000 815, 000 821,000 1,086,400 1, 234, 600 旅費交通費 546, 200 387, 200 0 933, 400 34,800 266, 400 301, 200 通信運搬費 314, 280 100,860 0 415, 140 7,890 29,670 37, 560 452, 700 広報誌発行費 331, 200 158, 400 489,600 21,600 64,800 86, 40 576,000 消耗品費 170, 200 81,400 251,600 11, 100 33, 300 44, 400 296,000 0 会場費 103, 100 291,000 0 394, 100 5,000 10,000 15,000 409, 100 図書印刷費 5,000 5,000 90,000 142,000 147,000 52,000 0 83, 000 記念品費 170,000 130,000 300,000 83,000 383,000 0 リース料 92,000 44,000 136,000 6,000 18,000 24,000 160,000 0 光熱水料費 33, 120 15,840 48, 960 2, 160 6, 480 8,64 57,600 支払手数料 35, 420 16,940 52, 360 6, 930 9, 240 61,600 2,310 322,000 154,000 0 476,000 21,000 63,000 84,000 560,000 諸謝金 30,000 644,000 674,000 674,000 70,000 支払負担金 70,000 70,000 雑費 44, 720 21, 440 0 66, 160 4,760 12, 280 17, 040 83, 200 管理費 0 3,654,500 3,654,500 役員報酬 給料手当 0 0 1, 190, 400 1, 190, 400 退職給付費用 0 0 82, 800 82,800 260, 000 260, 000 福利厚生費 0 会議費 289,500 289,500 0 0 0 0 旅費交通費 313,000 313,000 通信運搬費 202,600 202,600 広報誌発行費 144,000 144,000 消耗品費 0 0 74,000 74,000 会場費 0 0 46,000 46,000 図書印刷費 0 0 114,000 114,000 渉外慶弔費 0 10,00 10,000 リース料 40,000 40,000 光熱水料費 0 14, 400 14, 400 支払手数料 0 0 15, 400 15, 400 賃借料 140,0000 140,000 0 諸謝金 240,00 240,000 0 保険料 0 100,000 100,000 0 0 0 0 支払負担金 300,000 300,000 0 78, 400 78, 400 6,026,300 9, 927, 600 2, 103, 800 2, 456, 400 16, 038, 500 経常費用計 3,901,300 3,654,500 当期経常増減額 \triangle 5, 998, 700 3, 888, 100 9, 783, 600 \triangle 103, 200 350,800 1,017,400 1,749,200 381,000 \triangle 277, 80 経常外増減の部 (1) 経常外収益 経常外収益計 0 0 0 (2) 経常外費用 経常外費用計 0 当期経常外増減額 0 0 0 他会計振替額 0 0 0 0 当期一般正味財産増減額 \triangle 3, 888, 100 \triangle 5, 998, 700 9, 783, 600 \triangle 103, 200 \triangle 350, 800 \triangle 1, 017, 400 1,749,200 $381, \overline{000}$ \triangle 277, 800 -般正味財産期首残高 7, 473, 645 一般正味財産期末残高 7, 473, 645 Ⅱ指定正味財産増減の部 受取補助金等 9, 346, 200 9, 346, 200 9, 346, 200 9, 346, 200 受取全法連助成金 9, 346, 200 9, 346, 200 一般正味財産への振替額 \triangle 9, 346, 200 9, 346, 200 \triangle \triangle 9, 346, 200 一般正味財産への振替額 △ 9, 346, 200 \triangle 9, 346, 200 \triangle 9, 346, 200 当期指定正味財産増減額 0 0 0 0 指定正味財産期首残高 指定正味財産期末残高 Ⅲ正味財産期末残高 7, 473, 645

公1:税知識の普及を目的とする事業、納税意識の高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

公2:地域企業の健全な発展に関する事業、地域社会への貢献に関する事業

他1:会員の福利厚生に関する事業

他2:会員の交流に関する事業〈会員増強、会員親睦交流〉

〈令和3年度功労者表彰〉

(順不同・敬称略)

◇役員功労者表彰(永年勤続)

理 事 黒川正光 税理士法人 いまり税務会計事務所

理 事 北 風 正 春 協立産業株式会社

◇会員増強功労者表彰(3件以上)

山口 拡 司 有限会社山口花店

岩 本 貢 伊万里信用金庫

小 林 成 郎 株式会社小林産業

◇福利厚生制度功労者表彰

【経営者大型総合保障制度】

<保障額の部 3億円以上>

緒 方 淳 子 大同生命保険(株)

寺澤規 "

前田美和子 "

須藤ルミ子 "

秀 ときの "

公益社団法人伊万里有田法人会 定時総会記念講演

◇演 題:『法人会及び時事問題』

◇講 師:税理士 中江 章氏 (中江税理士事務所 所長)

<memo></memo>



法人会の理念

法人会は税のオピニオンリーダーとして 企業の発展を支援し 地域の振興に寄与し 国と社会の発展に貢献する 経営者の団体である



----良き経営者の指針----

- 1.経営者としての責務を果たすため、自己研鑽に努める。
- 2. 企業の健全な維持発展を図る。
- 3. 従業員が安心して働けるよう職場環境を整える。
- 4. 従業員教育と後継者育成に努める。
- 5. 良質の製品、商品、サービスを通じて社会に寄与する。
- 6. 適正な納税を通じて社会に寄与する。
- 7. 地域の一員として社会の発展に寄与する。